

2014年5月15日

慶應義塾大学大学院経営管理研究科
グローバル・ビジネス・フォーラムによる
日本のグランド・デザイン策定を行う融合型実践教育
Grand Design by Japan Special Seminar
“Project and Program Management for the Grand Design”

「プロジェクト・プログラム・マネジメント」
3日間特別集中セミナー案内
2014年7月5日-6日, 12日

拝啓

陽春の候、ますますご清栄のことと拝察いたします。

当プログラムでは、Project& Program Management 教育で世界的に活躍されている田中弘講師をお招きし、7月に3日間の特別集中セミナーを英語（必要に応じて日本語で補助）を使用し、実施します。

日本の経済、ビジネス、社会において、何を、どのように取り組むべきか、また、容赦なく進むグローバル化にどのよう同化してくか、という重要な課題を、Project & Program Management の基礎的な経験と知識を得ることを通して検討します。さらに、将来のグランド・デザインを策定するために不可欠な、多様な視点、課題設定、分析方法、協働の方法を理解することができます。詳細は添付のセミナー概要（日本語と英語で解説）をご覧ください。

このセミナーは、日本で初めての試みである、国籍を超えて、社会人・大学院学生・学部学生・大学院教員・研究者が一堂に会して融合型で、英語で実施するものです。

この3日間の特別集中セミナーにおいて、10名の社会人の参加者を募集しております。ご応募の検討をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、このセミナーの母体である、慶應義塾大学大学院経営管理研究科の「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラムでは、融合型社会人教育により日本のグランド・デザイン策定を行うという目的を掲げ、プロジェクトとフォーラムを中核とする通年の教育活動に、取り組んでおります。5年目の2014年度プロジェクトとしては、震災後の日本と世界を題材にしたビジネスモデル、世界との共生・協創による日本の発展と国際的なインフラストラクチャー開発、アジア、中国周辺地域等の国際政治(地域研究)、農業、医療、水産業、地域再開発などの各プロジェクトを予定しております。ご案内している特別セミナーは、このグランド・デザイン策定の融合型教育プログラムのオリエンテーションとしても位置付けております。併せて参加のご検討をいただきたくお願いします。

敬具

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 担当 姉川知史（富士通チェアシップ教授）

keio.grand.design@gmail.com

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

3日間特別集中セミナー

2014年7月5日-6日, 12日(3日間集中)

(i) 本セミナーのみに参加する社会人10名(今回募集)

(ii) 「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラム参加者20名(選抜募集)

下記要領で, 参加者を募集します。

内容「日本のグランド・デザインを策定する融合型実践教育」による3日間の特別集中セミナー

「グローバル・ビジネス・セミナー」“Project and Program Management for the Grand Design”

日程 2014年7月5日(土), 6(日), 12日(土)

場所 慶應日吉キャンパス 協生館5F エグゼクティブ・ルームと討議室

実施主体 慶應義塾大学大学院経営管理研究科「ビジネス・教育研究開発室」ならびに

「グランド・デザイン策定の融合型教育プログラム」

企画・監修 姉川知史 Ph.D. 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

講師 田中 弘(別紙)

言語 英語(必要に応じて補助言語として日本語を使用)

参加者 (i) このセミナーのために新規募集する社会人10名 **募集形態1**

(ii) 「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラム参加予定者から20名選抜
募集形態2

最小挙行人数15名, 最大挙行人数40名前後

全体として, 学部学生, 経営管理研究科学生, 他研究科学生, 社会人, 教員, その他の各層からバランスよく参加者を募り, 融合型教育を行う。

修了書 本セミナー修了者のうち(i) (ii)の参加者には, 慶應義塾の修了証書を授与する。修了要件は3日間を通した出席と, 講師による評価。

また,本セミナーの講師であり, 国際プロジェクトマネジメント界の著名な権威者である田中弘講師による, 下記の英文証明書を授与する。

① 参加者が,世界の6つの大学院大学(フランス, セネガル, ウクライナ, ロシア)で田中教授が教える講座と同等内容を履修して,これを修了し, International Innovation Project & Program Management 人材と認定する旨を記載した英文修了書。

② この中で, 日本プロジェクトマネジメント協会の P2M 資格維持に必要な CPU ポイント数(21ポイント目途), Project Management Institute(PMI)の PMP 資格受験者が必要とする 35 時間のプロジェクトマネジメントセミナー受講時間の構成時間数として使用できる研修時間数(21時間目途)の証明事項を記載する。

料金 3日間6万円/人。日本のグランド・デザインを策定する融合型実践教育プログラムからの選抜者は料金を免除の予定

セミナー詳細説明 (別紙)

申込:

次のページの申込書を印刷し, 必要事項をご記入のうえ, 申込書記載の FAX 番号宛て FAX 送信するか, 申込書をスキャンして e-mail アドレス

keio.grand.design@gmail.com まで e-メール添付でお送りください。

以上

Grand Design by Japan
3日間特別集中セミナー参加申書
プロジェクト・プログラム・マネジメント
2014年7月5日, 6日, 12日
(7月3日締め切り)

本申込書を **FAX** にて, **FAX 番号 045-562-3502** にお送り下さい

Application Form, Grand Design by Japan, Fax. 045-562-3502

Both Japanese and English information is required if available.

Date of Application: (申込日付) _____2014

Name(氏名) _____

Name of School, Department (所属大学) 大学所属者のみご記入ください

_____Year : Faculty Ph.D., Master Undergraduate

また,

Name of Affiliation, Position (勤務先) _____

Address 〒 _____

住所 : 〒 _____

Contact : Tel.: _____ Fax.: _____ E-mail: _____

Additional Information: _____

Contact Information

Office of the Grand Design by Japan Program

慶應義塾大学大学院経営管理研究科

Keio University, Graduate School of Business Administration

4-1-1 Hiyoshi Kohoku, Yokohama-city, Japan 223-8526

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

E-mail : keio.grand.design@gmail.com, Anegawa

URL: http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/

Project & Program Management for the Grand Design セミナーの概要

セミナー開催の背景

2008年時点に、世界銀行の統計や世界のプロジェクトマネジメント研究者が行った推計によると、世界全体でプロジェクト投資とプロジェクト型事業（製造業のプロジェクト化など）がGDPに寄与する比率は約33%であったが、この比率は、リーマン・ショック、ユーロ危機、世界同時不況を経て、現在では、先進国と新興国においては50%程度にまで上がっていると推定される。これは次のことを意味している。

- 多くの産業分野において、既存ビジネスの全体のパイと自社シェアが縮小するなかで、成長を維持するためには、新たな製品やサービスを継続的に投入するプロジェクト型ビジネスが不可欠となっている。
- 2013年に再生が進んだ日本企業は、アジアを中心として海外事業展開を早めており、プロジェクト的な新規事業を次々と打ち出している。
- 多くの国、地域で財政難が続いており、公共サービスの在り方に機動性、革新性（プロジェクト性、Value for Money原則の採用、民活の利用）が求められている。
- また、山積する社会課題は伝統的な公共マネジメントのみでは解決できない。
- 新興国には、社会基盤の高度化や、新中間層に向けた市場機会があり、また、新興国と途上国共に慢性的なインフラ（特に電力、輸送手段）不足が顕著であり、インフラプロジェクトは巨大な市場となっている。

このような状況では、次のような知識と基礎スキルを習得することがプロジェクト時代の経済と社会で勝者となるための一つに条件になる。

- ✚ 特定目的の達成活動を行ううえで、活動を30%短い期間で、30%低いコスト（あるいは資源）で、達成するための、プロジェクトマネジメント（PM）が提供する高効率段取り知識、スキル
- ✚ より高い価値を提供するプロジェクトを組成するために、プロジェクトの総合的目的の設定、複数の機能・手段（技術など）・ステークホルダー（参画者・関係者）を合理的に複合し、またプロジェクト実現のための資金調達（ファイナンス）を計画するための知識
- ✚ プロジェクト業務の生命線である「プロジェクトマネジャー、リーダー、チーム員として動ける」、「プロジェクトマネジャー、リーダーとして人を動かせる」、ためのプロジェクト組織・コミュニケーションの知識とスキル
- ✚ プロジェクトは、賛同し、支援し、協働してくれる人達がいて初めて成立する。「プロジェクト計画を売り込む」ための、ストーリーテリングとプレゼンテーションのスキル
- ✚ 現在、第3世代のプロジェクトマネジメントとして世界で定着しつつある「プログラムマネジメント」（高付加価値獲得、イノベーションのための戦略的マネジメント）の基礎知識

本セミナー受講をお勧めする方

社会人で、

- プロジェクトマネジメントが「こなし型」（基本計画が終わっているプロジェクトの遂行を粛々と纏めるタイプ）から、「こなし型」と「創造型」（新しいビジネス価値を獲得するプロジェクトを企画するところから入るタイプ）との混合、に変わりつつあるなかで、創造型のプロジェクトマネジメントを学びたい人

- ビジネススクールの、複数教員・社会人・大学院生による多国籍融合クラス環境で生きたプロジェクト系マネジメントを、英語で、学びたい人
- 世界的に通用する高度プロジェクトマネジメントセミナー修了書を取得したい人

学生で、

- 「プロジェクト化経済時代」の必須マネジメントであるプロジェクト&プログラムマネジメントの知識と基礎知識を、世界の PM 共通語である英語で習得したい人
- プロジェクトマネジャーやプロジェクトリーダーになりたい人
- (新技術) 開発などで、(技術) + α のところを習得したい人
- プロジェクト事業を主体とする企業に就職したい人
- プロジェクトマネジメント資格を保有する人は世界で 200 万人程度居り、世界のビジネスの多くの局面でプロジェクトマネジメント資格の保有の有無、あるいは、プロジェクトマネジメント協会の正規講座あるいは大学で有資格 (Qualified) 教員が教えたプロジェクトマネジメント科目の履修経験が問われる。これに備えたい人。

本セミナーの特長

- レクチャー、クラス討議、ワークショップ演習で構成される。
- グローバル・プロフェッショナル PM 界のリーダーの一人でありフランス、セネガル、ウクライナ、ロシア、日本 (国立大学院大学) の大学院でプロジェクトマネジメント専攻教授の資格を持つ主任講師による、グローバル基準のセミナーである。
- 教材は、著作権遵守を条件に、電子ファイルで提供される。
- 国内トップのビジネススクールで、多国籍、複数教員・大学院生・社会人の融合によるクラス進行を通じて、マルチカルチャー下でミニ・プロジェクトを経験できる。
- 慶應義塾大学大学院経営管理研究科のセミナー修了証と国際的なプロジェクトマネジメントセミナー修了の英文証明書 (兼プロジェクトマネジメント資格関連の継続学習証明書)

プログラム

日にち		ブロック	テーマ
7月5日	土曜日	0930 ~ 1000	オンサイト (受講会場) 受講登録
		午前	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開会 ■ 講義・討議セッション <ul style="list-style-type: none"> • 産業・社会における「プロジェクト」のあらたな位置づけ • プロジェクトマネジメント (PM) の役割・機能 • PM とプログラムマネジメント • PM 体系の世界地域別比較 • プロジェクトのライフサイクル • プロジェクト開発 (プロジェクトの構想・企画) • PM における基本マネジメント機能

			<ul style="list-style-type: none"> ○ (講義と小演習) ✓ スコープ設定 ✓ プロジェクト組織編成 ✓ プロジェクト・スケジュール設定 ✓ 予算計画
		午後	<ul style="list-style-type: none"> • PMにおける基本マネジメント機能 (続き) ✓ プロジェクトにおける品質 ✓ プロジェクトの資源調達 ✓ リスクマネジメント ✓ プロジェクトコミュニケーション • プロジェクト統合マネジメント
7月6日	日曜日	午前	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ I: グローバルプロジェクトチームの運営ーコミュニケーションを中心として (日本+ヨーロッパ、アジア) Ms. Taeko Inoue ■ ケーススタディ II : (選定中)
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディーに関する質疑応答 ■ 講義・討議セッション • プログラムマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ✓ プログラムマネジメントの機能 ✓ プログラムマネジメントの適用例 ✓ プログラムの構想・計画化 ✓ プログラムの構造化 • プロジェクト&プログラムマネジメント テーマワークショップのグループ編成
7月12日	土曜日	午前 午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト&プログラムマネジメントワークショップ ✓ 1000: 選定テーマに関するブレインストーミング ✓ 1100: プログラム/プロジェクト・ミッション設定、価値分析、プログラム/プロジェクト計画概要書作成 ✓ 1300: ステークホルダー関係分析、組織、WBS、プロジェクト・スケジュール、コスト ✓ 1400: ファイナンス計画、プロジェクト/プログラム遂行戦略 ✓ 1500: 発表資料纏め ✓ 1600: 演習成果発表各グループ発表 20分+質疑応答/討議 5分

			<ul style="list-style-type: none"> • 1730 : 纏め ■ 閉会
--	--	--	---

プロジェクト&プログラムマネジメント・ワークショップテーマ候補

- ① クール・ジャパン輸出プロジェクト (プログラム)
- ② エコ・スマートコミュニティー・プロジェクト (プログラム)
- ③ 日本農業・水産業の海外展開プロジェクト (プログラム)
- ④ 参加者提案プロジェクト

使用言語

教材,講義と演習の発表は英語とする.講義中の質問と演習中の討議は日本語使用可。

コース講師

主任講師：田中 弘 Dr.Sc. (ウクライナ),HDR,, Ph.D. (フランス),名誉教育学博士 (ウクライナ)

日揮株式会社出身 (42 年勤務) .国際プロジェクトマネジメント界活動歴 30 年,プロジェクトマネジメント協会経営歴 10 年,ヨーロッパ大学院における教員歴 10 年.

(特) 日本プロジェクトマネジメント協会創設者・前理事長,前 Global Project Management Forum チェアマン.国立北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員教授,フランス SKEMA Business School プロジェクトマネジメント専攻博士課程客員教授,セネガル CASR3PM 大学院大学博士課程筆頭教授,ウクライナ国立 キエフ建設・建築大学・国立造船大学,並びにオデッサ海洋大学 各名誉教授.モスクワ国立文理大学国際教授イノベーション修士課程サイエンス顧問,セネガル政府 "Plan Sénégal Emergent" 顧問.ウクライナ科学アカデミー会員.著書 (共著) 英語 2 冊,ロシア語 7 冊,日本語 2 冊.世界におけるプロジェクトマネジメント基盤推進に対して,国家表彰 5 件を含め,海外 14 件,国内 3 件の表彰受賞.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科「グローバル・ビジネス・フォーラムによる日本のブランド・デザイン策定を行う融合型実践教育」に 2011 年度から続けて参加協力し,多数の講演,講義,プロジェクト指導を行うとともに,毎年 1 回の実施する本セミナーの講師を務めている。

招待講師：井上多恵子 PMS.日本プロジェクトマネジメント協会 P2M 講座講師 (日本語, 英語), 東北大学大学院非常勤講師.製造業企業グローバル人材育成担当.通訳案内業資格 (英語)

Keio University Graduate School of Business Administration
“Grand Design by Japan” Program

July 5, 6, 12 Special Seminar
Project and Program Management for the Grand Design

Date: Saturday July 5, Sunday July 6 and Saturday July 12, 2014 (3-full day seminar & workshop)

Venue: Keio University's Keio Business School, Executive Seminar Room 5th Floor, Kyousei-kan, Hiyoshi Campus

Organizer: Keio Business School (KBS)

Course Objectives

- Learn, in three days, essence of management in project context, a contemporary paradigm of organizational management racing against complexity, competition, time and resources, coveted by Japan to mark a strong stride to being a competitive global player anew
- Know how to apply project and program management fundamentals for innovation to themes of the day, thereby contributing to actions on our common grand goal “Grand Design by Japan”
- Benefit from pragmatic, concise contents but supported by robust theories in the bottom by being exposed to an essential framework of strategy formulation and delivery in a project and program context, in particular, under the current highly complex markets and more broadly socio-economic environment
- Get cross-fertilized among participants with different backgrounds for breakthrough inspiration

Course Language

- English is used for teaching materials, lectures, feedbacks and presentations to endorse the spirit of the “Grand Design by Japan” program and to allow opportunities of non-Japanese speaking graduate students and business persons to participate in the program.
- Partial Japanese conversation is allowed, or lecturer – participants dialogue in Japanese, when necessary, is encouraged during workshop exercises but to the extent that essential discussions are shared by non-Japanese students as well.

Features of the Course

- The course consists of lectures; short discussions; and a one-day workshop.
- The class is a mix of graduate students, business persons and academia from

other disciplines, with different exposure to project environment. No prerequisite is set.

- Course contents are compatible in theories with global practice of project and program management as well as the P2M Guidebook of Project Management Association of Japan (PMAJ) which is widely supported GLOBALLY by those who pursue new management paradigm to master complexity, and are uniquely laid out by the course director who has 40+ years of experience in the global project management practice and ten years of teaching at graduate schools in Europe.
- Japanese project and program management strength is woven into the course

We are navigating through relentless global competition, unprecedentedly fluid and turbulent politic-socio-economic-technological changes as well as a wave of development. Most organizations, be private or public, are forced to seek breakthrough in their operations to grow or at least survive. Project management, embracing dynamic management paradigm of the day, is a global language in all sectors. At the same time, project management is evolving rapidly to include program management, one tier higher than project management. Globally, project management strongly focused merely on the secure delivery of a project is considerably losing its turf as there are not a sufficient number of projects, or traditional methods do not well support innovation and complexity factors increasingly involved in projects.

This course of three-day seminar and workshop delivers to participants fundamentals of, both project and program management (P&PM) and relevant entrant skills of applying P&PM by means of plain-language courseware, including typical method illustrations.

The course would welcome the participants trying to capture basics of project management, to address complex problems in the society, business and public services by way of program management, or to expand his/her sphere of management.

Faculty

Organizer and Supervisor of the Grand Design by Japan Program:

Professor, Tomofumi Anegawa, Ph.D.

Professor, Naotaka Watanabe, Ph.D.

Keio University, Graduate School of Business Administration

Lead Course Instructor



Professor, Dr. Hiroshi (Hiro) Tanaka, Dr.Sc, Ph.D., Hon. D.Ed.,
Practitioner – Producer – Global Analyst – Professor of
Strategy, Project and Program Management

Pr. Hiroshi Tanaka is Founder and Immediate Past President of Project Management Association of Japan (PMAJ). After having worked for 42 years at JGC Corporation based in Japan which is one of the top five engineering and program/project management companies in the world, he served as president of two Japanese project management associations for ten years and have taught project and program management as professor at graduate schools in France (10 years), Senegal, Ukraine, Japan and Russia. He is currently head professor at CASR3PM Graduate University in Senegal, international professor of post graduate program of SKEMA Business School, France, honorary professor at three Ukrainian national technical universities, international professor at Russian Federation state university, and visiting professor at one Japanese graduate university. Based on his expertise, he is cooperating with the Grand Design by Japan Program of Keio University KBS since 2011.

His primary areas of research include strategy of project and program management for innovation and national/sector development and Eurasian studies. He is co-author of two English books (McGraw Hill), seven Russian books and two Japanese books. He is recipient of 14 awards of professional, industrial and academic contribution in project management from abroad, including five government awards (Ukraine², Japan, India and Russia), and 3 from Japan,

Guest Speakers

Ms. Taeko Inoue, Master of Journalism (Australia), BA in Social Science Studies, P2M-PMS.

Ms. Inoue is a senior employee of Japan's major electronics, games, music and financial service company, responsible for global branding and global solidarity among the company's global employees.

Being a bilingual business person who spent 13 years in USA and Australia and possess a license of Official Guide of Japan and a TOEIC score of 990, she has published three books on global communication for Japanese. She teaches official training courses of P2M in English and Japanese for Project Management Association of Japan and two subjects on global communication/technical writing at Tohoku University Graduate School of Science and Technology. She also taught project management subjects in English at Paris Campus of SKEMA Business School, KBS of Keio University and HIDA of Japan.

Course Program

Date		Topics	
July 5	Sat.	0930~1000	Onsite registration
		Morning	<ul style="list-style-type: none"> ■ Opening/introduction ■ Strategic positioning of a project ■ Role and basic functions of project management ■ Project management vs. program management ■ Global trends on project management ■ Lifecycle of a project ■ Project development (project conception and feasibility analysis) ■ Management domains and typical methods of project management ✓ Project scope planning and management ✓ Project organization ✓ Project time management ✓ Project cost management
		Afternoon	<ul style="list-style-type: none"> • (continued) ✓ Quality in project management ✓ Project resources ✓ Project risk analysis ✓ Project communications • Project integration management
July 6	Sun	Morning	<ul style="list-style-type: none"> ■ Case Study I: Global team operation –global team communications Ms. Taeko Inoue ■ Case Study II: (TBA)
		Afternoon	<ul style="list-style-type: none"> ■ Q&A on Case Studies • Fundamentals of program management <ul style="list-style-type: none"> ✓ Role of program management ✓ Applications of program management ✓ Conception and framing of a program ✓ Structuring a program • Theme selections and grouping for project/program management workshops

July 12	Sat	Full day	<ul style="list-style-type: none"> • Project/program management workshop ✓ 1000 : Strategy brainstorming on a selected theme ✓ 1100 : Setting a project/program mission, value analysis, development of a project/program proposal ✓ 1300 : Stakeholder analysis, organization, work breakdown structure (WBS), project schedule, costs ✓ 1400 : Finance planning, project/program execution strategy ✓ 1500 : Compiling & editing a result presentation file ✓ 1600 : Result presentation <li style="padding-left: 20px;">Each group for 20 minutes followed by 5-minute Q&A, and instructor feedback • 1730 : Wrapping up the seminar
----------------	------------	-----------------	---

Candidate Themes of Project/Program Management Workshop

- Cool Japan export project (program)
- Eco-smart community development program
- * Overseas business development program of company ABC
- Project (program) on the overseas development of Japan's agricultural and or fishery industry
- To be proposed by participants

Assumed Participants

- Members of the KBS "Grand Design by Japan" Program
- Graduate students with KBS, Keio University Graduate School of Science & Technology and other graduate schools
- International graduate exchange students at Keio University and other universities
- Academia
- Delegates from business companies and agencies

Teaching Materials:

To be provided to the registered participants at the Program Secretariat prior to the course (starting June 1st):

- Course Text Slides (PDF slides will be provided prior to the course)
- Project/Program Management Workshop Guide Slide (ditto)

Course Registration

- Two-steps of the Registration, Application, Admittance, and Registration

1-st step: Application should be made by submitting the form to the office of the “Grand Design by Japan” program by July 3, 2014.

2-nd step: The office replied the admittance and registration information is given to each participant one week after application after June 15.

Course Certificate

Upon completion of the three-day program, two certificates will be awarded to participants, one from Keio University in Japanese and the other in English by the Lecturing Instructor Dr. Hiroshi Tanaka.

Program Fees

60,000 Yen fee for the course.

(Fees are waived for the official member of the Grand Design by Japan program upon request and conditions.)